

<p>三井楽小学校だより</p> <h1>まんよう</h1> 	<p>令和3年10月28日 第12号 文責：小嶋和徳 ＜学校教育目標＞ 「自ら学び、協働する 三小っ子の育成」 ☆認め合う子 ☆伝え合う子 ☆高め合う子</p>
---	--

季節の移ろい

日中の日差しの下は、まだ暑さを感じますが、まもなく立冬を迎え、季節は秋から冬へと一步一步進んでいます。朝の立哨指導をしながら、白良ヶ浜の先から降り注ぐ朝日の勢いが弱まってきたことや、金木犀の香りから秋の深まりを感じます。子どもたちも先週から衣服が一気に変わりました。寒暖の差があるため、体調を崩しやすくなる時期です。生活のリズムを整えたり、栄養のある食物をしっかりとって、寒さに負けない丈夫な体にしたいものです。今回の冬は、インフルエンザが広がるのではとされています。これからも気を緩めず、感染症対策を心がけていきましょう。



学校の花壇は、山田校務員さんが種から育てた小さな苗が植えられ、春の開花に向けて生長しているところです。

V.ファーレン長崎 植中朝日選手から学ぶ



9月27日(月) V.ファーレン長崎のスタッフが「V-DREAM」事業として、三井楽小学校を訪問しました。「V-DREAM」とは、目標を達成するためには、「仲間と協力する」「相手を思いやる」「ルールを守る」「夢をもつ」ことが大切であることを県内の小学生に伝え、子どもたちの心身の健全な育成につなげることを目的とした事業です。今回は、三井楽小の5、6年生とU-18 日本代表に選ばれたことがあり、現在 V.ファーレン長崎で活躍する植中朝日選手をオンラインでつなぎ、授業を行いました。植中選手が、今に至るまでを夢曲線で表し、心がくじけたときの思い、これからの目標などについて子どもたちに伝え、対話をしました。オンラインで植中選手とつながると、5、6年生はカメラに向かって手を振ったり、問いかけに手を挙げて発言したりするなど、意欲的に授業に参加していました。努力することの大切さや、うまくいかないことも乗り越えることで夢に一步近づくことなど、これから生きていく上で大切なことをたくさん教えてもらいました。貴重な機会を与えてくださいました V.ファーレン長崎のスタッフのみな様、植中選手、五島市スポーツ振興課のみな様に感謝いたします。



★植中選手の話で心に残っていることは、夢と自分とのギャップを埋めていくことが大切であるということです。これから、夢をかなえるためにどうしたらいいか考え、あきらめない気持ちを持ちたいです。

★失敗しても「他の人のことではなく、自分がどうであったかを考える」というところがいいと思いました。他の人をせめることにならず、自分も相手もいい気分になるし相手に優しくできると思いました。

★家族が応援してくれているから、失敗してもまたできるのだと分かりました。植中選手みたいになりたいです。

★植中選手は、夢曲線のとちゅうでさせつしながらも続け、実際にプロ選手になってすごいと思いました。私もソフトをしているのであきらめずにがんばります。

小体連記録会

10月、五島市内の5、6年生が集い、走ったり、跳んだり、投げたりして力を競う小学校体育連合大会が開催される予定でした。しかし、今年もコロナ感染拡大防止の観点から、各校による記録会となってしまいました。10月13日(木)、三井楽小学校は、岐宿小、大浜小と同日に五島市中央公園陸上競技場で他校と交わらないようにして記録会を行いました。競技場に着くと、福元先生の一声で5、6年生が大きな円をつくり、「がんばるぞー！」とみんなで気合いを入れました。約一月練習してきた成果を発揮しようと、真剣に競技に取り組む表情、三井楽小ばかりではなく、他校の頑張りを応援する姿は、とても素敵でした。多くの子が自己新記録を出すことができ、帰りのバスは満足した声が聞かれました。今後、各校の記録を集約し、記録証と上位者には表彰状が渡されることになっています。



ソフトボール投げ



幅跳び



100m走



高跳び



行事予定



800m走



リレー

日	曜日	予定
1	月	委員会活動
2	火	6年ジオ学習(嵯峨島)
4	木	3年社会科見学
5	金	嵯峨島小との交流学习
6	土	親父の会 9:00~
8	月	クラブ活動
15	月	代表委員会

19	金	移動図書館
25	木	三小キッズ発表会 13:00頃~予定

<12月予定>

- *人権集会(10日)
- *6年租税教室(17日)
- *学力検査(21, 22日)
- *終業式(24日)



※三小キッズ発表会が、鬼岳マラソン-09の日と重なったために、平日開催に変更しました。お詫び申し上げます

ます。